

IV 実践の結果と考察

共有フォルダの整備及び有効活用

「校務分掌」フォルダ活用研修会

- ☆ 研修会時及び研修会後の聞き取り調査から
 - 校務組織図からフォルダを開くことができるのは、とても便利である。
 - 今までファイルを探すのに、5分もかかっていたのに、すぐに見つかる。

⇒組織図にリンクを設定するなどの仕組みは、活用しやすくするための工夫として、有効であった。

職員会議での活用研修会

- ☆ 研修会時及び研修会後の聞き取り調査から
 - 職員会議の資料を探すのに、とても便利である。
 - 共有フォルダを使うと、こんなこともできるんだ。とても便利。
 - いつも資料が多かったのが、よかった。

⇒共有フォルダを活用することの良さを実感

職員会議での活用

- ☆ 職員会議に活用後の聞き取り調査から
 - 職員会議後に資料を探すのに大変便利である。
 - 次年度以降、資料作成なども楽になる。
 - 職員会議の準備が楽になった。(教務)

⇒共有フォルダを有効に活用していこうという意識が高まった。

情報化推進部会の役割について

操作支援について

- ☆ 部会の中で出された意見
 - 操作方法が難しいので、先生方に使ってもらうためには、サポートをしっかりとやらねばならないと思う。
 - 朝、コンピュータを起動するように、みんなで声を掛け合っていこう。

- ☆ 全体での研修会において、部員による個別支援が積極的に行われていた。

⇒支援が円滑に行われた。

グループウェアの活用準備

情報化推進部員による体験

- ☆ 体験時及び体験後の聞き取り調査から
 - 操作が、難しいので、慣れるまで、大変である。
 - いつでも連絡ができるので、便利である。
 - 全部の先生方が使ってくれるか心配である。
 - サポートをしっかりとやらねばならないと思う。

⇒グループウェアを活用することにより、連絡しやすくなることへの期待と活用することの難しさを実感

「校務分掌」フォルダを活用した朝の打ち合わせ

- ☆ 朝の打ち合わせ後の聞き取り調査から
 - 以前より、打ち合わせの時間が短くなった。
 - 口頭で行っていた時より、連絡事項が、わかりやすくなった。
 - 記録に残るので、よいと思う。
 - 後で確認できるので、便利である。しかし、コンピュータでファイルを開かなくてはならないのが面倒である。
 - 連絡する何日も前から、入力しておくことができるのは、便利である。

⇒朝の打ち合わせに、校内ネットワークを活用することの良さや便利さを実感

校内ネットワークの環境構築について

- ☆ 「校務分掌」フォルダのルール作りの協議の中で出された意見の一部

- 過年度の資料と比較することや保存する時のことを考えると、分掌ごとのフォルダの中に年度のフォルダがあった方が便利である。
- 先生方が利用しやすいということを考えて、ファイルは時系列に並んでいた方がよい。
- 先生方のコンピュータのスキルを考えると、分掌のフォルダの中に年度のフォルダがあった方がよい。

- ☆ 部会の前に、他の教職員から意見を収集してくる部員もいた。

⇒協力校の実態に合った共有フォルダの整備とグループウェアの活用準備ができた。

学校経営（概要版）

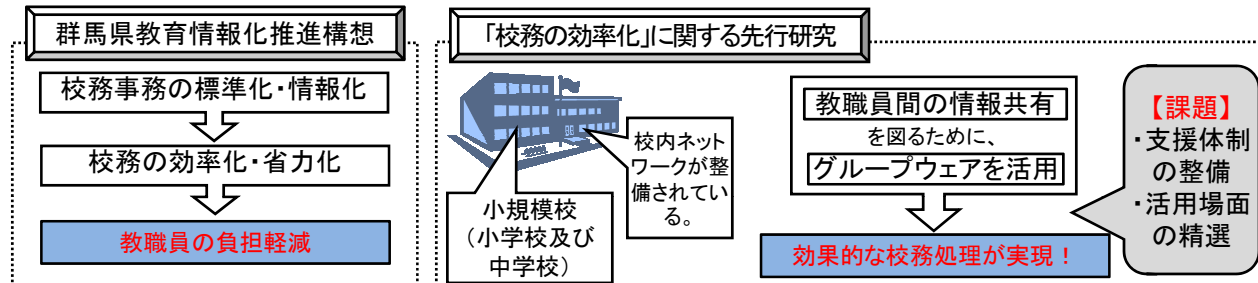
「校務の効率化」に関する研究

—校内ネットワークを活用した情報共有の取組—

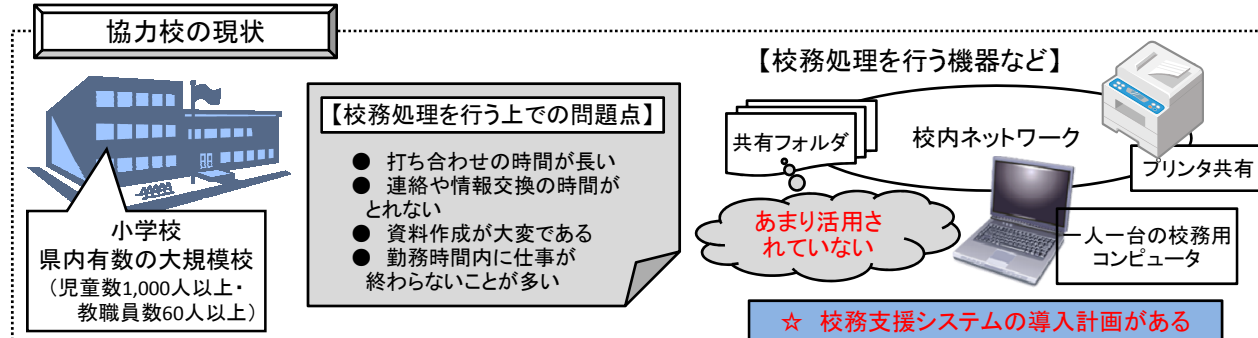
長期研修Ⅰ 研修員 加部 豊

I 研究の背景と目的

「校務の効率化」に関する現状と課題



協力校における現状と課題



協力校の課題

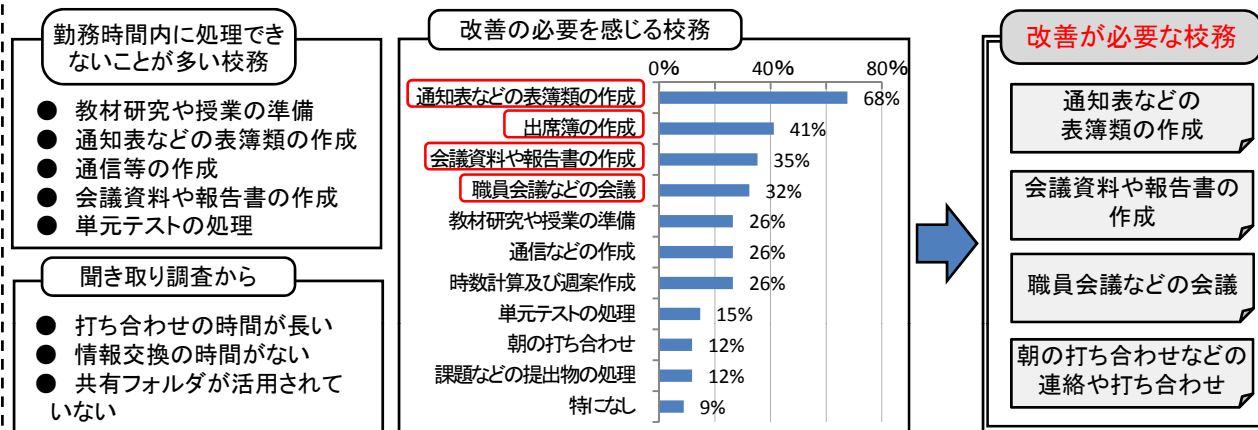
「情報」が有効活用されていない 情報⇒ 連絡事項・報告事項 文書や資料 → 校内ネットワークで 情報共有

研究の目的

組織的に、校内ネットワークの環境構築や教職員へのコンピュータの操作支援を行えば、校内ネットワークが有効活用され、情報共有が図られることを明らかにする。

II 研究の内容

調査の実施及び分析



V 研究のまとめ

成果

- コンピュータやネットワークの操作に不安を感じていない教職員が増加した。
- 共有フォルダの有効活用への意識が高まった。
- 校内ネットワークを活用した朝の打ち合わせの良さや便利さを実感した。

校内ネットワークの有効活用
図られた！
情報共有が

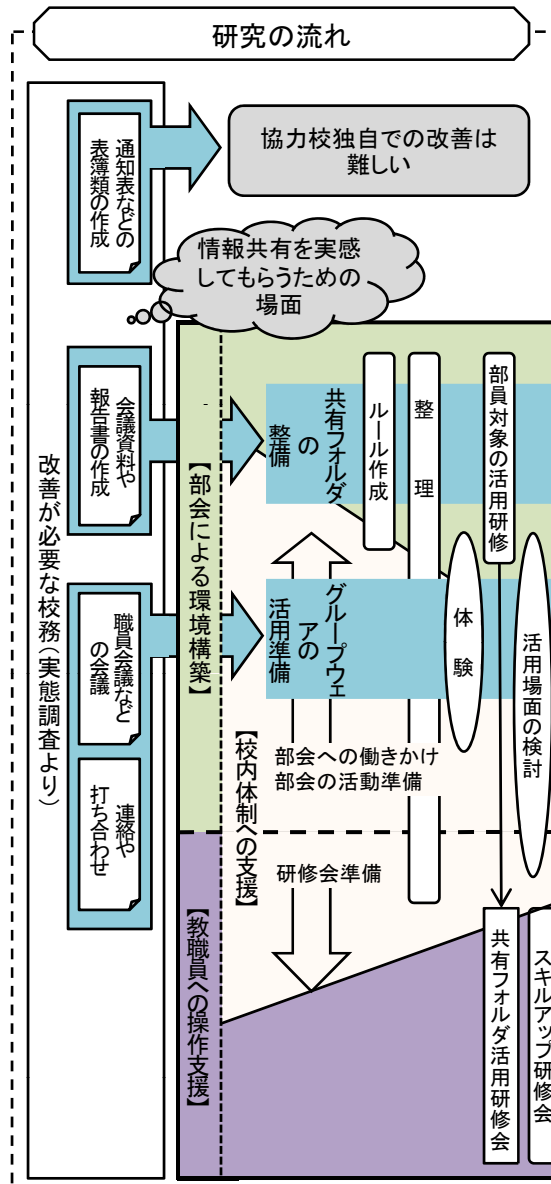
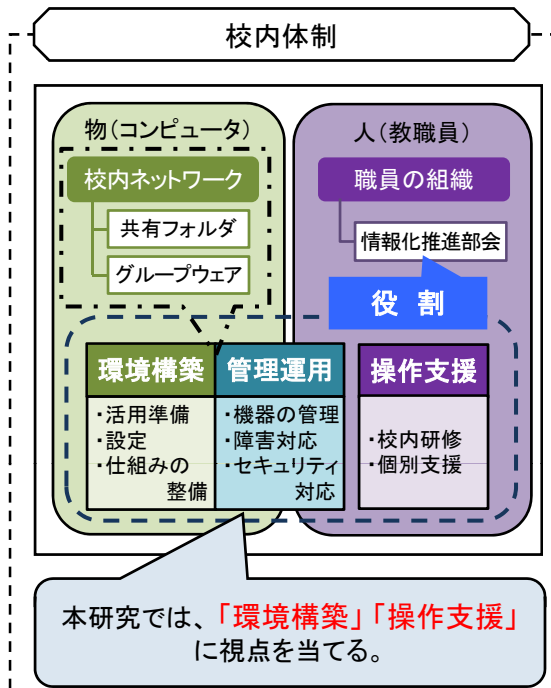
今後の課題

- 共有フォルダの維持・管理をどのように行っていくかが課題
- 連絡事項が、各自のコンピュータの画面以外でも確認できる仕組みが必要
- 年度がかわる際の移行作業をいかに円滑に行うかが課題

問い合わせ先 群馬県総合教育センター
担当係：教育情報推進係

0270-26-9215（直通）

Ⅱ 研究の内容



Ⅲ 実践の概要

